

暖房には、ペレットを使用した温水暖房を使用して補助暖房に薪ストーブを楽しんでいるようだ。

ペレットの消費量は年間2トン。1トンが230EURで1EUR≒150円として、年間69,000円。

断熱は、解体時の環境負荷を考慮して羊毛(写真右)を使用。

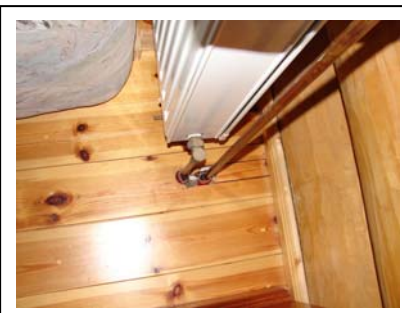
機械換気はしていない(規格もない)。隙間だらけのログハウスだから換気不要?)。建築材料は、エコ系使用。

地震にも耐えられて、100年間使えと氏は豪語。

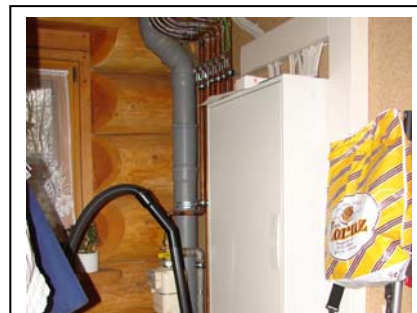
ドイツでは、木造建築は少ないが最近のトレンドとして木造建築が増えているとのことであった。(CO2削減のため政府が推奨していると聞いている)



浴室



配管の立ち上げ部分とボイラー室(右)



階段室(雑な仕上げはログハウスに似合う?)

ここに示した写真は、浴室とボイラー室を除き主に仕上げについて感想を述べるために載せた。写真が小さいため詳細が判りづらいと思うが、仕上げは非常に雑である。ドイツ人の本体・構造さえしっかりしていれば詳細には拘らないとの合理的な性格の表れかもしれない。逆に言えば、日本人は細部に拘りすぎるのかも?

OSB仕上げの壁(繋ぎなどが雑)

子供室



隣の家



全景。屋根の除却が下のほうで緩やかになるのが珍しい。塗り壁の様式はドイツ壁とのこと(プaster高野さん)。